

## 第 24 回 臨時休業中の私とこれからの私 その3

～ 3年生 KU の課題から ～

前回に続き、「臨時休業中の私とこれからの私」と題して行った KU（光陵ユニバース/総合的な学習の時間）の学習活動として、提出された生徒たちの記述をいくつか紹介したいと思います。生徒たちは、困難な状況に直面しながらも、しっかりと自分自身と向き合い、今の自分の思いを表現してくれました。

○ Y. T.

私たちは TV でニュースをみたり、新聞を読んだり、Yahoo! ニュースや Twitter を通じて世の中の動きを見る。しかしマスメディアで報道されていることは氷山の一角に過ぎないし、私たちはほんの一握りの情報でいつも生活している。この期間にいろいろなことが起こったが、特に目立ったのは SNS を使った問題だと思う。マスクの在庫圧迫により紙製品がなくなるのではないかというデマ、外出自粛の中で起こした行動により批判を受け、根拠のない個人情報特定や誹謗中傷で風評被害を受けた企業や人々。SNS を使った問題はコロナ禍であろうがなかろうが問題視されるべきだが、情報に敏感であったからこのような問題が平常より浮き彫りになったのではないか。

初めてこの時、SNS を使うのが怖いと思った。ただでさえ先の見えない世の中なのに根も葉もない情報に振り回されて平常を保っていられるだろうか。SNS は TV や新聞より情報が回るのが圧倒的に早い場合があるため、情報収集にはうってつけだと思う。しかし一歩使い方を間違えるとすぐ暴走するツワモノだ。臨時休校中は SNS の使い方をもう一度考え直させられた期間だと思う。今は受験生であり SNS に目を通さないものの、いざ社会に出て責任と自由を手にしたときに目の前の情報に囚われて動いてしまうのではないかと思う。これからはもっと情報リテラシーの能力を強化すべきだ。自分たちがみていることは世界の一部であることを理解し、一つの情報を全面信頼するのではなくもっと多角的な見方をすべきだと思った。それからむやみに思ったことを書かないことが大事である。普通の会話と同じように、相手にも心がある。本当の死の悲しみを知っている人は「死ね」なんて言葉は簡単には言わないはず。話している、みている相手は自分と同じ人間であることを再認識する必要がある。そして将来的には自分は正しい SNS の使い方ができる人でありたいと思う。

○ A. H.

この自粛期間に私は改めて心の健康の大切さに気が付きました。長い間家にいることで、家でうまく勉強が出来なくて不安になったりして、知らない間にストレスが溜まることができました。それを発散させようと気分転換にいろんなことをしてみても、なかなか気持ちが晴れませんでした。そういったときでも、家族や友達、先生など周りの人たちと一緒に話すことができると、気持ちが楽になりました。またそういった人は他にも多くいたのではないかと思います。

また、先生方も勉強面よりも心の面を気にしてくれていたように感じます。今回、自分よりも小さな子供は特に自分のストレスに気づけなかったり、それをうまく表現できなかったりと大人が思っているよりも大変だったのではないかとテレビや近所、親戚の私より小さな子たちに関する話を聞いて感じました。私は将来学校の先生になりたいと思っています。勉強を教えることも、もちろん大切なことだと思いますが今回のことで心の健康の大切さを知ったからこそ、ちゃんと話を聞いて、悩みを和らげてあげられるような先生になりたいと強く思いました。

家族と過ごす時間が増えたために家族間で問題を抱えている人は私よりもずっと大変だったと思います。この期間も含めたこれまでの生活の中で、悩んでいるように見えなくても実は問題を抱えている人がたくさんいることを様々な機会で見ました。私が知らない問題を抱えている人たちの話を聞いても今の私ではせいぜい正論や綺麗事を言うことしかできず、それがその子にとって良い時もあれば逆に傷つけてしまうこともあるということを知りました。これから子供を含め人が抱える問題についてもっと深く知っていき、人の心と向き合える教師になれるよう頑張っていこうと思います。

○ S. N.

今回の新型コロナウイルスで日本だけでなく世界的に大きな影響をもたらした。例えば、多くの国で感染者が多すぎたため医療崩壊が起こってしまったり、大勢の人がコロナに感染しないためにとマスクを購入する人が増え、マスク不足が起こったりした。これ以外にもさまざまな面で新型コロナウイルスは私たちに悪影響を与えたが、この休業中で気付かされたこともたくさんあった。小中高生では、いつも当たり前のように通っていた学校に行けなくなり、毎日のように友達と遊んだり部活をすることもできなくなってしまった。社会人では、毎日当たり前のように働いてお金を稼いでいたが職業によってはそれが困難になり失業した人もいると思う。これらのように自分たちがいままで当たり前だと思っていたことのほとんどが当たり前ではないということに気づかされたと思う。それと同時に協力することの大切を学ぶこともできた。新型コロナウイルスが収束し始めたのも大勢の人が外出を自粛し自宅待機をするという協力があったからだと思う。もう少し時間はかかってしまうと思うがまたいつか前のような日常が戻ってくる日がいつか来ると思う。そのような日が戻ってきた時に私たちは今回の経験を決して忘れては行けない。当たり前のように学校に行けること、勉強できること、友達と会えること、働くことができることなどすべてひとつひとつに感謝の気持ちを持つことが大切。そしてもし困難や壁にぶつかった時は自分の身の回りの人と協力し乗り越えていくこともこれから先の生活に必ずなるだろう。